



埼玉県のマスコット
さいたまもち コバン

埼玉県四半期経営動向調査

(平成30年1～3月期)

県内中小企業の経営状況

緩やかに回復している。

先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。

特別調査「働き方」の見直しや改善（「働き方改革」）の取組について

-働き方改革 4社に1社が「取り組んでいる」-

埼玉県では、四半期ごとに県内中小企業を対象にアンケートとヒアリングによる経営動向調査を行っています。今回は平成30年1～3月期についての結果報告です。

アンケート調査は、県内中小企業2,200社に送付し、1,499社からご回答いただきました。
(回答率68.1%)

平成30年3月30日

埼玉県産業労働部



彩の国 埼玉県

はじめに

埼玉県では、県内主要業界・業種の景況について、その現状と見通しに関する調査を四半期ごとに実施し、産業労働施策を推進するための基礎資料として活用しております。

また、調査結果は、市町村や商工会議所、商工会をはじめとする関係諸機関にも広く提供するとともに、県ホームページでも公表しており、各々の機関で幅広く活用いただいております。

調査結果の公表

アンケート及びヒアリング調査の結果全体を取りまとめ、原則として、調査月の翌月中旬に公表します。

また、アンケート調査の集計表は埼玉県ホームページに掲載しております。

埼玉県ホームページ : <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/doukou.html>

調査方法の概要

1 調査の方法 (1) 書面によるアンケート調査 (2) 業界団体及び個別企業への訪問ヒアリング

2 調査対象期間 平成30年1～3月(調査日:平成30年3月1日時点)

3 調査対象業種及び回答数

	対象業種	対象企業数	回答数	回答率
アンケート調査	製造業	960	674	70.2
	非製造業	1,240	825	66.5
	計	2,200	1,499	68.1
ヒアリング調査	製造業	25		
	小売業	9		
	情報サービス業	3		
	建設業	3		
	計	40		

※ アンケート調査先は、『株式会社東京商工リサーチ埼玉支店』の企業情報から県内中小企業を各業種別に抽出しました。

※製造業(12業種)

食料品、繊維工業、家具・装備品、パルプ・紙・紙加工品、印刷業、化学工業、プラスチック製品、鉄鋼業・非鉄金属、金属製品、電気機械器具、輸送用機械器具、一般機械器具

※非製造業(7業種)

建設業、卸売・小売業、飲食店、情報サービス業、運輸業、不動産業、サービス業

4 書面アンケートの集計方法

アンケート調査については、各業種別に景気の動向を観測できる項目を抽出し、前期との対比による増減又は好転・悪化の割合(%)の差をDI値として集計しています。

DI(景気動向指数: Diffusion Index)とは

増加(好転)と回答した企業割合から減少(悪化)と回答した企業割合を差し引いた指数で、企業の景況判断等の強弱感の判断に使用する指数のことです。

〈例〉「増加」50% 「変わらず」20% 「減少」30%

$$DI = 50\% - 30\% = 20$$

なお、本文中の割合(%)については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、景況感、売上げ、資金繰り及び採算の各DI値は、±0.1の範囲で差異が生じることがあります。

目 次

I 特別調査

「働き方」の見直しや改善（「働き方改革」）の取組について	2
1 「働き方」の見直しや改善への取組状況	2
2 「働き方」の見直しや改善の取組で実施または検討していること	3
3 「働き方」の見直しや改善により期待する効果	4
4 「働き方」の見直しや改善にあたっての課題	4
（参考）調査結果一覧	6
ヒアリング調査における企業の声	6

II 県内中小企業の経営動向

III アンケート調査からみた経営概況

1 経営者の景況感と今後の景気見通し	10
2 売上げについて	12
3 資金繰りについて	14
4 採算について	16
5 設備投資について	18

IV ヒアリング調査からみた経営概況

概要	21
業種別調査結果	22

参 考

アンケート調査票	28
アンケート調査対象業種	29